

備前市事務事業評価シート

(平成23年度事業)

事業の概要		事業開始年度 平成17年度(昭和38年度)		根拠法令・例規等	水道法、地方公営企業法
総合計画	大項目 基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり	問 担当課(室)	水道課
	中項目 基本施策	01	生活しやすいまちづくり		
	小項目 施策	09	上水道及び簡易水道		
事務事業名		02	水質管理事業	合 職・氏名	施設係長 吉瀬 満
				電 話	0869-66-9794
				このシート作成に要した時間	2.0 時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	市内の上水道利用者	
目的(何のために)	安価で良質な飲料水を安定的に供給するため。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	水の停滞しやすい場所でも、水質基準に適合し衛生上の措置として残留塩素を必要量保持した、安心・安全な飲料水を供給する。	

事業の実績		Do		
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度	
	水質管理事業	水質検査(原水・浄水基準項目)	13ヶ所 年1回	
		水質検査(浄水省略不可項目)	13ヶ所 年3回	
		水質検査(原水・浄水簡易項目)	13ヶ所 年8回	
		水質検査(水質管理目標設定項目)	4ヶ所 年1回	
		水質検査(原水指標菌)	6ヶ所 年4回	

決算額	事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
	事業費	千円		6,266	6,330	6,364
	必要人員	人		0.66人	0.60人	0.36人
	事業費	千円		12,536	12,211	10,004
	国 県 支出金	千円				
	受 益 者 負 担	千円		12,536	12,211	10,004
財 源	千円					
市 債	千円					
市 債	千円					
その他( )	千円					
一 般 財 源	千円					
受 益 者 負 担 比 率	%		100.0%	100.0%	100.0%	

結果指標	結果指標名	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
	説明		水質検査(原水・浄水基準項目)		
	項目		13	13	13
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%
活動コスト	円		2,060,100	2,015,300	2,019,578
単位当たりコスト			158,469	155,023	155,352

事業の成果		Check				
成果指標名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値	
水質基準の適合率	目標値(A)	100.0	100.0	100.0	100.0	
	実績値(B)	100.0	100.0	100.0	到達目標値	
	達成率(B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
成果指標設定の考え方・式や説明						
定期的に実施している水質検査の結果が水質基準に適合している割合。(適合件数/対象件数)						

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	必要	市の関与の妥当性 市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい
	市民ニーズ	必要	市民・団体等から要望・要請が強い	A
効率性の評価	コスト	必要	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい
	目的達成度	必要	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい

進行年度(H24年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	前年度と同様に水質基準の適合率100%を維持するよう努める。

総合評価		総合評価
水道事業にとって水質管理は重用であり、改訂する度に厳しくなっている水質基準に対応するため、広域水道企業団、岡山県健康づくり財団と連携しながら技術の向上に努めている。		A A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい

平成25年度の方向性・取組目標		Action				
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了					
取組目標	引き続き水質基準の適合率100%を維持していく。					

事業の意図する成果とつながら成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を評価する